

(1) 「山の港町」長井市・しごと創出 イノベーション計画

2016年12月13日認定
2017年5月30日変更

課題

- 各産業の担い手不足
- ものづくり分野における新たなビジネス展開
- 農業従事者の高齢化、後継者不足 等

重要業績評価指標(KPI)

- 生産年齢人口減少抑制数(2016-18年度累計)……43人
- 創業・起業者数(2016-18年度累計)……27人
- 観光交流センター売上高(2018年度) …282,000千円

計画の概要



「山の港町」長井市・しごと創出イノベーション事業

事業イメージ

地域産業

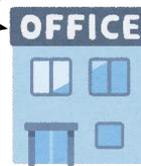
- ・自分で仕事をつくりたい!
- ・ビジネスアイデアを実現したい!
- ・長井で働きたい!

市内外の若者



お互いの
ニーズと
マッチングを
図る!

- ・担い手を確保したい!
- ・新たな産業や雇用を生み出したい!
- ・産業の高付加価値化を図りたい!



① インキュベーション機能の強化

★これまでの成果

- ・安価な小規模オフィススペース「イノベーションLab. 長井 i-bay」は8件が入居中(個室7室は満室)(2019年2月現在)
- ・入居者のうち「竹田けあほーむ」が独立(2017年11月)
- ・ビジネスチャレンジコンテスト(ビジコン)を実施(2017、18年度の計2回)
- ・ビジコンを起点に「萩志会クラフトマン」が長井産の地ビールを販売(2019年2月)



③ 新規就農及び6次産業化の促進

★これまでの成果

- ・首都圏における新規就農イベントに参加(2016年度:1回 17年度:6回 18年度:4回 実施)
- ・移住による新規就農者が1名誕生(研修を終え、自立)
- ・6次産業化推進協議会を開催(2017年度:3回 18年度:3回 実施)
- ・新商品を道の駅で発表(2017、18年度の計2回実施)



② 創業人材確保及び大卒人材等のマッチング

★これまでの成果

- ・市内の大卒求人企業のガイドブックを作成(2017-19年度)
- ・首都圏等の大学生の見学ツアーを実施(2016年度:3回 17年度:2回 18年度:2回 大正大、東北公益文科大学等)
- ・創業セミナーを実施(2016年度:2回 17年度:2回 18年度:1回 参加者延べ6名)



④ 旅行商品企画人材の育成等による観光地域づくりの体制強化

★これまでの成果

- ・観光局による商品販売(33件の旅行商品を催行(2019年2月現在))
- ・「長井販るるぶ」の作成過程を通した情報発信手法の研修(2017年7月発行、18年7月には英語版を発行)



⑤ 地域産業プロモーション事業の実施

★これまでの成果

- ・クリア・トラベラーへの長井市記事の掲載(2017年12月発行)、別冊作成
- ・TURNSへ長井市記事の掲載(2017年12月発行)
- ・リクルートグループと連携した地域産業の特集ホームページを作成(2018年8月開設)



事業期間全体の最終評価

所管課	総合政策課、商工観光課、産業活力推進課									
事業期間	2016年12月～2019年3月									
事業費	事業期間の実績額	2016年度		2017年度		2018年度		事業期間合計		
		8,842,658円		50,563,071円		47,115,322円		106,521,051円		
重要業績 評価指標 (KPI) (2019年2月 時点)	指標名	2016年度		2017年度		2018年度		達成率	達成状況	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標達成率		
	観光交流センター 売上高(百万円)	0	0	260	248	282	232	88%	概ね達成	
	※菜なポート南店売上高 との合計(百万円)	0	0	260	418	282	383	136%	(達成)	
	生産年齢人口減少 抑制数(人)(累計)	5	▲23	13	▲30	25	36	144%	達成	
創業・起業者数 (人)(累計)	12	12	21	20	32	25	69%	概ね達成		
所管課 評価	達成状況	2		← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった						
	達成状況の要因	<ul style="list-style-type: none"> 生産年齢人口について、2016～17年度は20代後半から40代前半にかけての社会減少の増加などによって減少の抑制に至らなかった。しかし、2018年度には45～49歳の男性、50～54歳の女性の人口が前年比で増加に転じるなど、減少の抑制が達成された。 ビジネスコンテストの開催により、創業予定者や創業者等の意識高揚につながり、地域が創業を応援する機運が醸成された。 起業・創業者数については、1年目、2年目は順調な成果を上げ、支援を受けた人は着実にスタートアップできた。3年目には、地域の人口の絶対数が少ないこともあり、起業・創業者数の伸びが停滞した。 観光交流センターの売上高については、2016年度で閉店予定だった菜なポート南店が継続営業となり、売上が分散したことによって目標額には達しなかったものの、南店を合わせた売上高は4億円超が見込まれる。 								
	評価指標以外の成果	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスコンテストの情報発信によって、地域外にも長井を知ってもらう機会が創出された。 周辺市町と連携した地域連携DMOとして、新たに「やまがたアルカディア観光局」を組織し観光地域づくりの枠を拡大。 食の見本市(川のみなと長井で開催)により、6次産業化商品、協議会活動等を多くの市民等にPRすることができた。 								
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> Uターン事業と連携し、起業・創業意欲のある人材の誘致を目指す。 6次産業化商品の販路拡大のため、プラットフォームを設立し地域が一体となった販売活動を展開していく。 地域連携DMOの組織化により広域での誘客強化、インバウンドへの対応を促進する。 首都圏や仙台圏における長井市の知名度向上のための情報発信の継続。 									

委員評価

- ・長井市の知名度を高める取組が重要。
- ・評価指標の観光交流センターの売上高について、市民の要望を受けて直売所の2店舗体制を継続している。そのような状況下でも2店舗合計で4億円を超える売上を出しているの、よりプラスの評価をしてほしい。
- ・Uターン者にとって働く場がないため、市の産業特徴を生かした企業誘致等も検討すべき。
- ・DMOは非常に楽しみな要素。2市2町連携の取組が色々と考えられるので、実効的な動きに期待。

(2)水と歴史と公共交通を活かす 最上川「山の港」長井市地域再生計画

2016年3月15日 認定
2016年8月30日、2017年2月24日、
2017年5月30日 変更

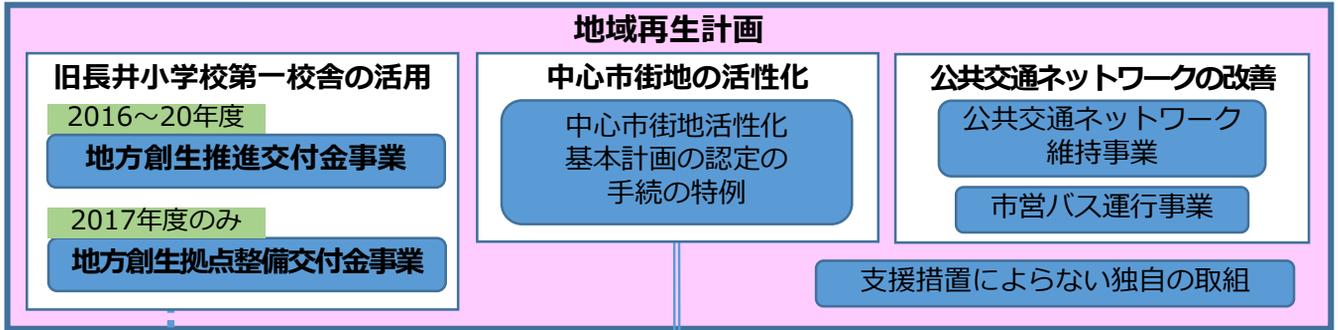
課題

- 中心市街地の賑わいの喪失
- 公共交通の利便性の低下
- 長井小学校第一校舎の遊休化
- 将来の産業等の担い手不足

重要業績評価指標(KPI)

- 中心市街地における歩行者通行量(2020年度) ……397人/日
- まちなか観光客数(年間)(2020年度) ……393,057人
- 長井小学校第一校舎利用客数(延べ)(2019-20年度累計) ……124,000人
- 人口の社会増減(2020年度) ……▲60人
- 観光交流人口(2020年度) ……75万人
- 新規創業者数(2016-20年度累計) ……30件 等

計画の概要



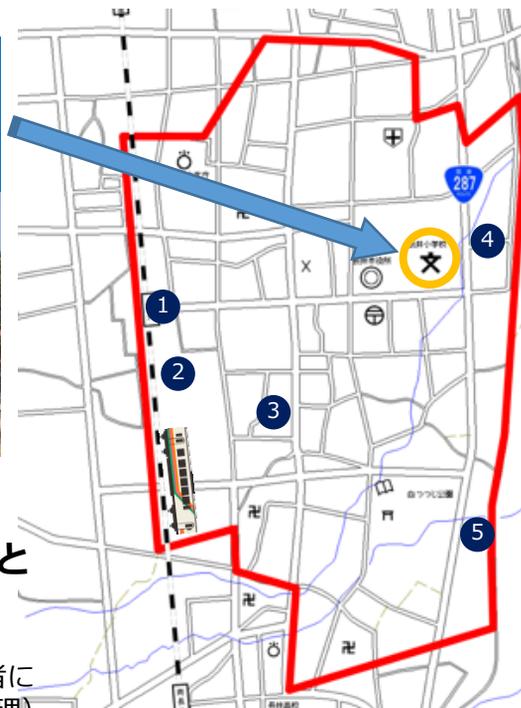
中心市街地活性化基本計画における主な集客施設



「旧長井小学校 第一校舎」の 有効活用

木造校舎の雰囲気 を活かした「まなび」と 「交流」の拠点に!

※2019年度から民間事業者による校舎の活用(指定管理)



※実線で囲まれた区域は中心市街地活性化基本計画区域

①長井駅



②公共複合施設



※写真はイメージ

③本町複合施設



※写真は「クロスバ」

④観光交流センター



⑤T A S パークホテル



活用コンセプト

事業内容(案)

A.感動を与える場

- ・長井市の歴史・文化・産業紹介
- ・旧長井小第一校舎等の資料展示 等

B.安心する場

- ・飲食物持込み可の交流スペース
- ・市の事業・イベントの実施 等

C.将来への希望が湧いてくる場

- ・学びのプログラム展開(起業家教育など)
- ・ワークスペース運営 等

起業家教育のプレ実施

- ・市内金融機関等と協力し、小・中・高校生を対象に自分たちの会社をつくる
- ・起業体験ワークショップを実施
- ・2017:1回 2018:2回実施
- ・小・中・高校生 計40人参加



※写真は金融機関から融資を受ける事業計画を説明している場面

事業期間全体の中間評価

所管課	総合政策課、公共施設整備課									
事業期間	2016年10月～2021年3月									
地方創生 推進交付金 事業費	事業期間の実績額	2016年度		2017年度		2018年度		3か年合計		
		14,979,600円	13,349,564円	80,000,000円	108,329,164円					
地方創生 拠点整備交付金 事業費	事業期間の実績額	2017年度		事業終了年度						
		320,000,000円								
重要業績 評価指標 (KPI) (2019年2月 時点)	指標名	2016年度		2017年度		2018年度		達成 状況	2020年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績		目標	達成率
	中心市街地における 歩行者通行量(人)	211	132	232	190	273	256	概ね達成	397	64%
	まちなか観光客数 (万人)	20	18	22	66	26	110	達成	39	282%
	人口の社会増減(人)	▲120	▲109	▲105	▲23	▲90	▲47	達成	▲60	121%
	観光交流人口(万人)	63	66	66	115	69	96 (12月時点)	達成	75	128%
新規創業者数(人) (累計)	5	7	10	15	15	20	達成	30	67%	

※旧長井小学校第一校舎の活用に関する指標については、開館前で事業実績が無いため掲載せず。

所管課 評価	達成状況	2	← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった
	達成状況の要因	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の歩行者通行量は上昇しているものの、2016年に大型商業施設が撤退した影響もあり目標値に届いていない。 2017年にオープンした道の駅「川のみなと長井」の集客が好調であることから、まちなか観光客数及び観光交流人口が大幅に上昇した。 人口の社会増減は改善傾向。特に2017年度には県内移動が流入超過。 新規創業者については、インキュベーション施設「i-bay」の活用などの創業支援によって、目標値を超える実績を上げている。 旧長井小学校第一校舎の活用については、2019年4月開館に向けて順調に整備が進捗しており、ソフト面でも施設の指定管理者となった「アクティオ㈱」を中心に準備を進めている。 	
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 旧長井小学校第一校舎から中心市街地への人の流れを創出。 旧長井小学校第一校舎の開館準備。円滑な事業運営。 	
今後の取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> 2019年4月27日(土)開館。随時、見学等にも対応し、周知を図る。 市内外の企業、団体等と連携した学びと交流の事業構築を目指す。3月19日設置の旧第一校舎推進協議会(仮)で関係団体等との連携を強化。 人の流れ創出のため、重要文化的景観、中活、DMOと密接に連動する。具体的には、観光商品への組込や市街地の歴史等紹介、イベント連動等。 		

委員評価

- ・評価指標から見える成果を、市民にどのように実感させるかが課題。
- ・アイデアを持った市民もいるので、現場の声を積極的に吸い上げてほしい。